

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ
川崎市外国人市民代表者会議
(第10期 第2年 第4回 第2日)
ぎじろく
議事録

1 日時 2016(平成28)年2月14日(日) 午後2時～5時

2 場所 川崎市国際交流センター

3 出席者

(1) 代表者 24人

張 氷青、葉 元聡、任 家林、劉 健全、王 夕心、金 スンオグ、孔
敏淑、崔 想、河 相宇、ヴィラマー ジェリー、牟 鳳菊、グエン ゴク
バオ リン、ヘイ ジャ フィ、仲田 シリワン、ヒラチャン アスカ、
ケゼン グア エドワード、セヌー ジョアキム、鈴木 イエレナ、バルトコバ
オクサナ、園田 泉 ベアトリス、河本 ファビオ 良則、シフケン
ブランドン、オルソン チャールズ、ディットマー ダニエラ

(2) 事務局

石川 室長、町田 担当課長、長澤 担当課長、須藤 課長補佐、宮島 担当
係長、丸橋 職員、菅原 職員、高橋 専門調査員

4 傍聴者 8人

5 会議次第(公開)

(1) 開会のあいさつ

(2) 事務局説明

(3) 議事

(4) 事務連絡

(5) 閉会

【全体会】

セヌ一委員長「それでは、これから川崎市外国人市民代表者会議2015年度、第4回第2日を開催する。本日は、ライゼールさんと童さんが欠席だ。まずは本日の日程と配付資料の確認について、事務局から説明をお願いする。」

(事務局須藤課長補佐が説明。)

セヌ一委員長「続いて、前回会議のまとめについて、事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料1に基づき説明。)

セヌ一委員長「それでは、議事に入る前に写真撮影がある。写真撮影が終わったら部会審議だ。社会生活部会はこのままレセプションルームで、福祉教育部会は第1会議室に移動してください。全体会の再開は14時45分からだ。」

【福祉教育部会】

(前回、提言案が決定しているため審議なし。)

【社会生活部会】

任部会長「それでは、社会生活部会を始める。今日は前回出た指摘が修正されているか確認して、問題がなければ部会として最終決定したい。まずは、提言①入居差別について事務局から修正箇所についての説明をお願いする。」

(事務局丸橋職員が資料3-1に基づき説明。)

任部会長「何か意見はあるか。(なし)では、決定は2つの提言をまとめて最後にしたい。続いて、提言②やさしい日本語について説明をお願いする。」

(事務局丸橋職員が資料3-2に基づき説明。)

任部会長「何か意見はあるか。(なし)では、2つともとくに修正の意見はないようなので決をとりたい。2つの提言に賛成の人は挙手を。(賛成多数)それでは、これで社会生活部会として提言案を確定とする。」

【全体会】

セヌ一委員長「それでは、全体会を再開する。これから提言を全体で決定していく。まずは事務局から説明をお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が進め方について説明。)

セヌ一委員長「それでは、福祉教育部会の提言①子育て支援についてから審議する。説明にもあったように提言は全体で決定するので、福祉教育部会の委員ではな

い人からの質問や意見もお願いする。事務局、提言案の読み上げをお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料2-1(提言案)を読み上げ。)

セヌー委員長「部会長から補足の説明はあるか。(なし)では、何か質問はあるか。(なし)修正の提案や意見はあるか。(なし)それでは、決をとる。福祉教育部会の提言①子育て支援に賛成の人は挙手を。(全員賛成)提言①子育て支援が決定した。続いて、同じく福祉教育部会の提言②高校進学について審議する。事務局、提言案の読み上げをお願いする。」

(事務局高橋専門調査員が資料2-2(提言案)を読み上げ。)

セヌー委員長「部会長から補足の説明はあるか。(なし)何か質問はあるか。」

ディットマー委員「単純な質問だが、4ページの下に書いてある3年以内という条件は、どういうことか。」

セヌー委員長「部会長、説明を。」

園田部会長「在県枠での入試を利用できる条件として、外国籍または日本国籍を取得してから3年以内で、日本での在留期間が通算で3年以内というものがある。この3年以内という条件が厳しいというのが、私たちの要望の1つだ。」

セヌー委員長「ほかに何か質問はあるか。」

孔委員「そうすると、小学校6年生で来た子は進学できないのか。」

園田部会長「進学できないわけではない。ただ、この制度は利用できないので、一般入試で受験することになる。」

孔委員「言葉はそんなにすぐに習得できないと思うが、それで進学できるのか。」

園田部会長「できない、とは言えないが、相当勉強しないと難しいのが実態だ。」

張委員「確認なのですが、1ページの下、進学率は全体値を大きく下回り、5割程度といわれて、在籍率は進学率よりもさらに低く、在籍しているのは30パーセントとある。要するに、20パーセントは進学した後に辞めてしまったと理解してよいのか。」

園田部会長「データに関することなので、事務局から説明してもらうのがよいと思う。」

事務局高橋専門調査員「辞めてしまった子どもたちだけとは限らない。このデータでは、在籍率は高校生に該当する年齢のうち高校に在籍している子どもの割合と

いう意味だ。つまり、例えば母国で中学校を卒業した後に来日した16歳とか17歳の子どもたちが母数に含まれている。70パーセントの中には、その子どもたちと進学したが途中で辞めてしまった子どもたちの両方がある。」

セヌー委員長「ほかに質問、あるいは修正の提案はあるか。(なし)それでは決をとる。福祉教育部会の提言②高校進学に賛成の人は挙手を。(賛成多数(23人))では、提言②高校進学が決定した。次は、社会生活部会の提言に移る。まずは、①入居差別について審議する。事務局、読み上げをお願いします。」

(事務局丸橋職員が資料3-1(提言案)を読み上げ。)

セヌー委員長「部会長から補足の説明はあるか。(なし)では、何か質問はあるか。(なし)意見はあるか。(なし)ないので、決をとる。社会生活部会の提言①入居差別に賛成の人は挙手を。(全員賛成)では、提言①入居差別は決定した。続いて、提言②やさしい日本語について、事務局、読み上げをお願いします。」

(事務局丸橋職員が資料3-2(提言案)を読み上げ。)

セヌー委員長「部会長から補足の説明はあるか。(なし)何か質問はあるか。(なし)意見はあるか。(なし)では、修正の意見はないようなので決をとる。社会生活部会の提言②やさしい日本語に賛成の人は挙手を。(全員賛成)では、提言②やさしい日本語が決定した。それでは、10分間の休憩を挟んで、会議を続ける。」

(休憩)

セヌー委員長「それでは、全体会を再開する。次は、全体での共通提言のラウンジの設置についてだ。事務局、読み上げをお願いします。」

(事務局高橋専門調査員が資料4(提言案)を読み上げ。)

セヌー委員長「提言案について何か質問はあるか。(なし)修正の提案や意見はあるか。(なし)なければ決をとる。共通提言のラウンジの設置について賛成の人は挙手を。(全員賛成)それでは、ラウンジの設置についても正式に提言として決定した。これですべての提言が無事に決定したことになる。今日、スムーズに提言が決まったのは、これまでの会議でみなさんが丁寧に審議してきたからだと思う。みなさんこれまでお疲れさまでした。」

続いて、年次報告書について審議する。事務局、説明をお願いします。」

(事務局丸橋職員が資料5に基づき説明。)

セヌー委員長「何か訂正や修正が必要な箇所はあるか。（なし）もし、何かあれば事務局まで連絡を。それでは、残りの時間で2年間の会議の振り返りをしたい。みなさん、ひとりずつ簡単に振り返りをお願いします。」

ヘイ委員「みなさん、それぞれ審議したいテーマがたくさんあって、最初はどうかかなと思ったが、うまく順調に進めることができ、それぞれすごくいいかたちで提言をまとめられたのでよかった。」

ヴィラマー委員「2年間、本当にお疲れさまでした。部会で話し合ったことは、多分、提言として達成できたと思う。これからも時間は限られていると思うが、よい提言が続いてくれるとよい。」

牟委員「2年間、大変お世話になりました。いろいろ勉強させていただきました。私の人生にとって貴重な思い出になった。ありがとうございました。」

シフケン委員「お疲れさまでした。9期、10期と参加したが、前期より今回の方がスムーズにいったと思う。今期の方がとても楽しかった。どうもありがとうございました。」

金委員「みなさま、お疲れさまでした。いろいろな事情で十分に活動に参加できなかったところもあったのだが、ちょっといつもより多く提言をまとめるという荒業を達成できた。本当にみなさんの協力、あと事務局の方の尽力に感謝したいと思う。2年間、お疲れさまでした。」

ケゼングア委員「みなさん、お疲れさまでした。私は今回まだ1期目だったので、いろいろなことが勉強になった。やはり毎回みなさんが集まって、この2、3時間の中でいろいろなことを議論して、話をまとめるのは非常に大変だと思った。そういった中で、やはりこういう限られた時間だけではなくて、勉強会というかたちでプラスの時間をつくったことがよかった。とくに高校進学という難しいテーマに関しては、そういう勉強会を実施したことでいくぶん提言をスムーズにまとめることができたと思う。これから、また11期で活動する人についても、同じようなかたちでやってもらえるとよいのではないかと思う。ありがとうございました。」

葉委員「10期からこの会議に参加したのだが、私、個人にとって非常に有意義な2年間だった。みなさんがこの2年間ここで頑張ったことは、きっとよりよい川崎市になるために貢献できた有意義な2年間だったと思う。ここで得たいろいろな経験など、もしまた11期にも参加できれば、ぜひ次に生かしたいと思う。ありがとうございました。」

バルトコバ委員「みなさん、本当にお疲れさまでした。この2年間は、本当に私の人生の中で大変貴重な経験になりました。提言のことをちょっと心配していたが、みなさんと事務局のおかげでうまくまとめることができたと思う。これで、より住みやすい川崎、よりグローバルな川崎に一つでも近づいたのかなと思っている。また縁があったら、よろしく願います。」

鈴木委員「みなさん、お疲れさまでした。2年間、みんなで頑張りました。初めてここに参加して、大変なこと、わからないこともいっぱいあったが、最後にはよかったと思っている。」

崔委員「第9期から参加して、約4年間、代表者として活動した。まず、セヌー委員長、オルソン副委員長、園田部会長、任部会長、ありがとうございます。会議の進行は多分相当大変だったと思うが、よい提言をまとめることができたと思う。4年前はいろいろと不安もあった。それでも、一歩ずつ前に向かって、みなさんで意見を出して、外国人や日本人にとって川崎市が住みやすいまちになっていくというのが1つの理想のかたちだと思っている。本当にいい会議だと思う。近いので、これからも後ろの席から見守っていきたいと思う。」

グエン委員「2年間、いろいろありがとうございました。本当にみんなで力をあわせて頑張ってここまで来た。本当に私もとても感謝している。とくに委員長、副委員長、部会長たちは、私たちのことをまとめてくれたが、本当に大変だったと思う。とても感謝している。それに、市の職員の方もいろいろサポートしてくれて、資料作成して、本当にいろいろ調べてくれて、本当に私たちが知らないところまで教えていただいて、本当にありがたいと思っている。そして、これから残る人たちへ。私たちは卒業しても、ぜひ全力で協力したい。遠慮なく、いつでも呼んでください。よろしく願います。」

孔委員「みなさん、お疲れさまでした。今期で終わる人たちは、また別の場で頑張ってください。それから、残って第11期をやる方は、また今回と引き続きいろいろ頑張ってください。それから、一つお願いというか、この代表者会議はただここで会議することだけが会議ではない。また、フィールドワークとかお祭りとか、どこかでPRする、そういう部分も第11期の方たち、ぜひ積極的に参加してください。素敵なみなさんと触れあったこと、それからいつも個性あふれる私たちがまとめてくださった事務局のみなさんに、この場を借りてお礼を申し上げます。」

ヒラチャン委員「2年間やってきて、初めはどういうふうになるのかすごく不安だったが、一緒に今までまったく知らないようなことを学んだりできて、この提言で少しでも川崎がよくなっていけばいいかなと思っている。みんなの協力と事務局の方にすごくご協力していただいて、ここまで来られたのは本当によかったかなと感じている。どうもありがとうございました。」

王委員「みなさん、お疲れさまでした。あつという間に4年間が過ぎた。本当に限られている時間の中で、みんながすごく積極的に話し合っただけで提言をまとめられたのは、本当に委員長とか部会長、みなさんのおかげだと思う。あと本当に事務局には、私たちのわがままな要望とかを聞いてくれてありがとうございました。」

ドイツマー委員「みなさん、2年間お疲れさまでした。本当に私にとっても最初は初めてで、よくわからなかったところがあったが、2年経ったらこういうことか、そうなんだという発見がいろいろあり、すごく濃厚な2年間だった。気づいたらもう2年経ってしまって、本当にあつという間という感じだが、私もとくに事務局にお礼を申し上げたい。本当にいつも小まめに準備もしてくれて、小まめにブオローもしてくれて、事務局の力がなければ私たちも何もできなかったと思う。本当にありがとうございました。」

河本委員「みなさま、この2年間ともに頑張ってくれてありがとうございました。最初は初めてなので、役に立てるかちょっと不安だった。でも、毎回の会議の中でみんなで力をあわせて、川崎がグローバルになるように、みんなのアイデアをまとめて、市に提言ができるこの活動は素晴らしいと思います。どんどん周りの外国人にも意見を聞いたりした。この活動をずっと続けていけば川崎市はどんどんすみやすいまちになると思う。本当に今までの人生の中ですごく素晴らしい経験だったと思う。ありがとうございました。」

仲田委員「みなさん、お疲れさまでした。私は大学生みたいな経験だったと思う。4年前が受験生で、合格するかどうかがドキドキ待って、でも、今日卒業した。寂しいが、でもいい経験とかいい記憶とかいっぱいできた。まず、事務局に対しても感謝している。いろいろ相談して準備してもらって。あとオープン会議や市民祭りなどでも、お客さんは来るかなとか一緒にドキドキして、こういったことも私にとってはとてもいい意味を持っている。みなさん、ありがとうございました。」

劉委員「みなさん、2年間大変お世話になりました。みなさん、今までよいことば

かり言っているが、私はいつも通り真面目な振り返りをしたいと思う。よい点から言うと、今期ならではの新しい試みがあったのではないかなと思う。とくにオープン会議のときにワークショップなり、パネルディスカッションなり、自分たちからの提案があったという点は、すごくよかったと思う。微力だが自分の力は出し切れたと思うので、みなさんの協力も得ながら、精一杯な提言があったことはすごく嬉しいと思う。次に改善点についてだが、みなさん外国人市民代表者会議の代表者であるという観点から、もっとリーダーシップをとってほしかったなと思っている。今のままでは、まだ足りていないと私は感じている。もちろん、みなさんそれぞれ個人の活動とかもされていると思うが、もっともっとリーダーシップをとって欲しかったという思いがある。ぜひ、毎回少なくとも1度ぐらいは自分から発言して欲しい。あと最後に、ワークショップのときにあらわれた課題だが、ファシリテーターをするときの能力が必要だと感じた。研修ができればよいと思う。」

河委員「みなさん、お疲れさまでした。また、この会議を円滑に運営するために事前に協議をしてくれていた事務局の方、委員長、副委員長、部会長は本当にお疲れさまでした。ありがとうございます。個人的には、代表者会議のメンバーになって、いろいろなことを勉強させていただき、経験することができた。普段の生活の中でも常に外国人の方には、こういったところが便利なのかな、不便なのかなというところを意識するようになった。本当はもっともっというろなことをテーマに挙げて進めていきたいという思いもあるが、そこは次回の課題として、また第11期に引き継いでいければと思う。」

張委員「みなさん、お疲れさまでした。私たち、限られた時間の中で事務局のサポートもあり、最後により経験をすることができて本当によかったと思う。また個人的に、この3年間、事務局からこのすてきな経験を与えていただき、本当にありがとうございました。感謝いたします。これから、また11期に残る方は、ぜひまた引き続き、外国人のためにより提言をよろしくお願ひします。」

園田部会長「お疲れさまでした。本当に今日が来て、最後の会議になる。私は前期と今期、部会長をやらせていただいたが、やはりやり残したことがある。残念ながら11期は参加ができないが、バックグラウンドでサポートしていきたい。11期に残る人たちは、ここで2年間学んだことを引き継いでいって欲しいと思う。本当に1つのものというのは、植物と同じで、種をまいたからす

ぐに芽が出るということではない。でも、この会議も10期ということで20年間やっている。そろそろ花が咲いて、そろそろやはり枝を増やしていかないといけないと、と思う。11期のみなさん、本当に頑張ってください。私はできるだけサポートするので、よろしく願います。ありがとうございました。」

委員長「自分なりに、この2年間に振り返ってみたが、本当に事件だらけだった。ただ、みなさんと楽しいこともいっぱいあって、横浜のつづきMYプラザまでフィールドワークにも行ったり、ここでの時間以外でも本当にみなさんのボランティア精神の高さに感心している。ぜひみなさんの情熱で、もっと盛り上げていくような方向に持っていけたらと思う。この2年間、みなさんどうもありがとうございました。」

オルソン副委員長「私は劉さんと同じように、いろいろな反省の気持ちがある。こういうことはもっとうまくできたとか、もっと効率的にできたとか。ただ、最終的には民主主義は効率だけではないので、結果が出せたこと、プロセスの中でコミュニケーションがきちんととれたことは、それ以上によく感じた。みんなの努力と、とくに事務局の努力で、この結果が出せたと思うので、非常に感謝している。いろいろな経験ができて、すごく感謝している。でも、一番大きいことは、こんな素晴らしい、頭のいい外国人の人たちとつき合うことができて、私は改めてこの人たちが住んでいることは、川崎は非常に運がいいと感じている。メンバーの1人として自慢だ。みんなこれからもいろいろなアイデアを持って、いろいろなところで社会に貢献し続けると思う。私自身は、来期は参加はしないのだが、後ろからぜひ支援したい。ありがとうございました。」

セヌ一委員長「私からは、結構いい2年間になったと思っている。それは、みなさんの協力を得たからこそできた成果だと思う。みなさんに感謝しつつ、事務局もいろいろな仕事、勉強会など、下準備をしてくれた。あとオープン会議で来られた人たちやオープン会議で講演してくれた先生たちにも、感謝したいと思う。ありがとうございました。」

これで、すべての議事が終わった。最後に事務局から事務連絡をお願いする。」

事務局高橋専門調査員「2点ある。1点目は、今日みなさんの机の上に配付した議事録について。今日の会議の分もあるので、まだ今年度分の議事録は全部終

わっていない。議事録ができたなら、みなさんに郵送するので、確認をお願いする。もう1点、前回お願いをしたニューズレターに載せる代表者の感想を、まだ提出していない人は提出をお願いする。

セヌー委員長「これで、川崎市外国人市民代表者会議第10期、2015年度第4回第2日、最終の会議を終わりにする。引き続き、さよならパーティーをお楽しみください。お疲れさまでした。」